

碧南市児童クラブ・児童センター・こどもプラザららくるにしばた・こどもプラザこころっくしんかわ指定管理者審査委員会 会議録

日時

令和7年7月24日（木）午前10時～午前11時まで

場所

碧南市役所2階 談話室2・3

出席者及び欠席者

- (1) 出席者 山本政裕、渡辺顕一郎、伴野義雄、井上美香、山本貴史
- (2) 欠席者 小田直樹、内藤大輔
- (3) 事務局職員 こども健康部長 深津広明、こども課長 鈴木好美、子育て支援係長 長澤貴行、主事 井上美希
- (4) 指定管理者 碧南市社会福祉協議会事務局長 中川英治、管理課長 榑原圭司、管理課長補佐 池田貴文、主任児童専門員 杉浦恵理、主査 長南直美、榑尾・東部児童センター長 杉浦みゆき、ららくるにしばた所長 杉浦淳子、こころっくしんかわ所長 井上明日香

傍聴者 0人

委員会の成立 委員定数過半数以上出席により成立

会議の公開 市HPで委員の氏名、選出機関・団体名、会議録に出欠席者氏名、発言内容の要旨を公表する旨説明

議事進行 山本委員長

議事の要旨

議題

(1) 児童クラブ

ア 令和6年度事業報告及び決算について

イ 令和7年度事業計画及び予算について

指定管理者が会議資料に基づき説明。その後、審議。

<意見・質疑>

【A委員】 予算支出に対して決算のほうが下がっている。人件費増と説明があったが、もともとの予算より下がっているため説明がつかないのでは。

収支予算書に関して、前年度の予算はどこを根拠としているか。11ページ記載の予算金額と差異があるのではないか。

【指定管理者】 まず、11ページにある決算に記載のある予算については、年

度当初額ではなく、年度途中に行った補正予算後の最終の金額を記載している。例えば派遣職員について説明すると、派遣職員が当初以上に増えたと説明したが、年度途中で当初の予算の約2倍の額で補正をかけたため、補正後の金額が11ページ記載されている。

令和7年度の人件費について、パート職員の賞与の支給割合によってかなり増えたと説明をしたが、令和6年度と令和7年度の期末勤勉手当の率が大幅に変わっている。6年度は、期末勤勉合わせて2.350、7年度は4.600と約倍近く上がっている。これは処遇改善の一環の中で、今まで再任用職員と同じ率にしていたが、令和6年度から碧南市の会計年度職員については一般職と同様の率となったので、社会福祉協議会でも1年遅れではあるが一般職と同率にしたこともありかなり大きく額が変わっている。

- 【A委員】 決算人件費支出で、予算と決算の差額が大きい原因はなにか。
- 【指定管理者】 当初予算の段階で人件費は見込みとしている。これだけ人を雇っていきたくて予算を計上しているが、実際にはそこまで人員を確保できなかった。
- 【A委員】 人件費は上がったけれども予定人数よりも少なかったという理由でよいか。
- 【指定管理者】 はい。
- 【A委員】 21ページは当初予算ではなくて、補正後の予算を載せてもらわないと差額が大きすぎる。11ページの予算が補正後というのであればこれを次年度で生かさないと意味がない。
- 【指定管理者】 一般的に市の予算でも当初予算と比較していくためそれに合わせた記載をしたということをご理解いただきたい。来年からわかるように記載にしたいと思う。
- 【B委員】 職員67名のうち国が定めた放課後児童クラブ支援員認定資格を持っている人は何名いるのか。
- 【指定管理者】 46名です。
- 【B委員】 67名のうち46名の方が放課後児童クラブ支援員の認定講習を受けて資格をもっていられるということですか。
- 【指定管理者】 はい。

(2) 児童センター

ア 令和6年度事業報告及び決算について

イ 令和7年度事業計画及び予算について

指定管理者が会議資料に基づき説明。その後、審議。

<意見・質疑>

【B委員】 子育て支援センターは開所曜日と時間が載っているが、児童センターの開所曜日と利用時間を教えてほしい。

【指定管理者】 東部・棚尾児童センターは月曜日休館。火曜日から日曜日、祝日も空いている。利用時間は朝9時30分から夕方6時までとなっている。

【B委員】 共働き家庭が圧倒的に多い時代に入った。土日の利用が多いと思うが、土日の利用状況と父親の利用状況を教えてほしい。

【指定管理者】 土日は家族や父子の利用が増えてきていると感じる。ただ統計はとっていない。

【B委員】 次回は統計をとってもらいたい。内訳を教えてほしい。

【指定管理者】 曜日ごとでよいか。

【B委員】 はい。子どもの方は、小学生、中学生、高校生とわけてもらって、子育て支援センターに関しては父親や祖父母の利用がどれくらいあったかなど。こういった統計がとれると土日に開館している効果や、利用が増減した時の要因が見えてくる可能性がある。父親支援のプログラムもあると良い。

(3) こどもプラザららくるにしばた

ア 令和6年度事業報告及び決算について

イ 令和7年度事業計画及び予算について

指定管理者が会議資料に基づき説明。その後、審議。

<意見・質疑>

【A委員】 音楽室の利用状況は。

【指定管理者】 中学生と高校生が中心。バンドをやっている子や、部活として練習しにくる子がいる。

【A委員】 利用状況について空いているときがあると以前言っていなかったか。

【指定管理者】 空いているときはある。月によっては混んでいる時と空いてい

- る時がある。学際や吹奏楽の大会の前は混む。
- 【A委員】 楽器やる人は場所を探していると思う。ららくるは、オープン的に人を募集するようなことは考えているのか。
- 【指定管理者】 前年度、碧南高校と西端中学校には話をしに行った。
- 【A委員】 一般にもPRしていけると良い。
- 【B委員】 サークル室やワークルームがあると思うが、有料で利用できる部屋というのはいくらか。
- 【指定管理者】 午前9時30分から12時までが260円、12時から午後3時まで、午後3時から午後6時までがいずれも390円、午後6時から午後9時までが590円。
- 【B委員】 吹奏楽などで利用する中学生も利用料を払っているのか。
- 【指定管理者】 吹奏楽など部活で利用する子は無料。バンドやサークル室でのダンスの練習などは料金がかかる。
- 【B委員】 部活動との線引きはどのようにするのか。
- 【指定管理者】 学校に「減免カード」を置かせてもらっている。学校の先生が生徒にそのカードを持たせたうえでの利用であれば無料。
- 【B委員】 児童館の開所曜日は子育て支援センターと同様の水曜日から月曜日か。時間も先ほど同様午後6時までか。
- 【指定管理者】 はい。

(4) こどもプラザこころつくしんかわ

ア 令和6年度事業報告及び決算について

イ 令和7年度事業計画及び予算について

指定管理者が会議資料に基づき説明。その後、審議。

<意見・質疑>

- 【A委員】 ファミリーサポートセンターの会員登録状況について、依頼会員の数かなり下がっているがどういった理由か。
- 【指定管理者】 毎年郵送で意思確認している。5年に一度返信用の封筒もいれて今の家庭の状況を今一度確認してもらって継続をしていくのか確認をしてもらうというのが前年度だった。そこで、子どもが大きくなった等の家庭状況があつて退会された方が多かった。
- 【A委員】 何か意見を聞いているか。
- 【指定管理者】 もしものためにあらかじめ入会しておく方が多かつ

たため、結局使わなかったという意見は多かった。

【A委員】

より実際の数値に近づいたということか。

【指定管理者】

そうです。

【B委員】

こころっくでは育児相談と記載のある個所がらくるでは相談指導と記載されているが、同じものか。同じものであればどちらが正しいのか。

【指定管理者】

同じもの。小さいお子さんだけではないため、相談指導の方が正しい。

【B委員】

おもちゃ図書館の利用は一回何人くらいか。

【指定管理者】

日によって個別で親と子で使うときもあるし、療育施設に行っている方が集団で使われることもあるので平均をとったことがない。

【B委員】

もう少し利用があると良い。保健士さんとの連携はどうなっているのか。

【指定管理者】

保健センター、にじの学園、市役所の発達支援係とも連携はとっている。

【B委員】

月に一回のあおぞらひろばという発達障害等育児相談に関してどなたが担当しているのか。

【指定管理者】

担当者は一人だが、徐々に対応人数を増やしたい。

【B委員】

専門職が対応しているわけではないのか。

【指定管理者】

専門職ではなく療育施設や、保育園幼稚園で加配をやっていた職員が対応している。

【B委員】

碧南市は発達支援に力を入れている市になるのでもう少しこのあたりも力を入れていただきたい。こちらも開所日は支援センターと同様の木曜日から火曜日でよいか。休みの日はわざと他の施設とずらしているのか。

【指定管理者】

はい。

【B委員】

どの自治体でも依頼会員に対して協力会員がなかなか得られなくて苦慮しているが今のところファミサポは回っているか。

【指定管理者】

はい。

【B委員】

このところ、協力会員は増えているのか。

【指定管理者】

職員が知り合いに声をかけたり、昨年度は市のLINEに協力会員の募集を載せたり、協力会員さんに集まってもらってどうしたら仲間が増えるかなど話し合いの場を設けたため、微増している感覚ではある。

- 【B委員】 職員が、こどもプラザ1名、子育て支援センター4名となっているが、ファミサポ担当はどうなっているのか。
- 【指定管理者】 プラザの職員2名で対応している。所長がこどもプラザの仕事を兼務しているため、その2名でファミサポも担っている。

(5) その他

- 【B委員】 少子化に伴って子どもの数が減ってきている。児童センターの利用は増えたり減ったりするが、放課後児童クラブや保育の利用に関しては共働き世帯の増加に伴ってまだまだ横ばいくらいで進んでいきそう。今のところ大きな課題はないように思えるが、放課後児童クラブ支援員さんのクレームに関して気になる。支援さんの質がクレームに現れてきてしまう。子どもの方に何か要因があって、職員にきつく当たってしまっている場合もあるかもしれないし、職員側のパーソナリティや質の問題もあるかもしれない。そのあたりは引き続き研修等を充実させながら対応していってほしい。子どもにとって放課後は学校から解放されて家庭にも縛られない大切な時間なので、引き続き職員の質の向上によりいっそう努めてほしい。